

しんめいばら

回 覧

第 178 号
2020.2.20

定期整備!

二月二日(日)久しぶりに寒い朝となりましたが二十七名の参加により整備を行いました。今回から宮竹小三年生七名が、公園ボランティアとして正式に愛護会活動に参加することになり、学校で製作した利用者へへのお願いの立て看板を設置した後、落葉の収集や花壇への施肥作業などを会員と共に、これまでになかった明るい雰囲気で作業が進みました。子供達の地域に役立ちたいという気持ちを大切に育てながら、更に活発な愛護会活動を進めて行きたいと思います。



私達の思いを込めて作りました!

なんぶ花さんぽ!

一月二十五日(土)駿河区の海辺にある花壇を愛でながら巡る南部生涯学習センター主催の「なんぶ花さんぽ」に参加しました。総勢四十人で静岡・海辺づくりの会の花壇をスタートし、高松宮竹多目的広場、私達の公園までおよそ一時間半の行程でしたが、長年に渡り活動が続けている他団体の素晴らしい花壇を拝見することは大変有意義であったと共に、私達の花壇に多くのアドバイスをいただく機会を得ることも出来ました。



静岡・海辺づくりの会の花壇!

豆知識!

『すみれの花の咲くころ』

例えばスミシにはスミシの、マメにはマメの花の特徴があります。スミシの花は、サクラなど多くの花と同じように5枚の花弁(はなびら)です。ではサクラと同じかといえば、だれが見ても全く別のものです。スミシの花の下向きの花弁には裏側に距(きょ)と呼ばれる突起があります。距のある花はほかにもありますが、スミシの一つの特徴といえます。パンジー、ピオラは、スミシの仲間(科)ですから同じ特徴があります。パンジー、ピオラは花を摘んでも次つぎと新しい花が咲きますから花をひとつちぎって観察して距があることを確かめてみましょう。「スミシの花咲くころ 初めて君を知りぬ」白井鐵造(旧春野町出身) 作詞の歌



ピオラ!

私は見ていませんが、パンジーの切り花というのもあるそうです。

今日の公園!



暖かい日差しの下で!

お知らせ!

○ 三月の公園整備は一日(日)です。花壇の整備や除草、清掃などの作業を行いますのでご参加下さい。

○ 三月の回収、ピン・缶は二十四日(火)、古紙は二十二日(日)です。自治会の回収活動にご協力下さい。

○ 高松神明原公園愛護会は現在二十名の会員により公園の美化活動に取り組んでいます。自治会員に限らずどなたでも入会が出来ますので、ぜひご参加下さい。

連絡先・二三七五一八一 山本まで